

中期目標の達成状況に関する評価結果

福岡教育大学

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構

I 教育に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、1項目が「良好」、3項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(3) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、1項目が「良好」、3項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(4) 学生への支援に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画「職業人となる自覚を高め、高い倫理性を涵養する職業教育のあり方を検討するとともに、就職率向上のための適切な就職・進路指導体制の確立と、各種就職・資格試験等の受験指導の充実を図る」について、全教職員が一致協力して取り組むべき「就職支援の理念」に基づいてキャリア支援センターを設置し、就職支援に取り組み、センター利用者の満足度調査において利用者の多くが満足・ほぼ満足と回答していること、また就職ガイダンスへの出席者数も大きく増加するとともに教員講座を30回以上受講した者の教員採用合格率が100%であったことは、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「障害のある学生への支援を計画的に行う」について、「身体に障害のある学生の支援懇談会」を設置し、『身体に障害のある学生の修学支援マニュアル』を作成・配布するなど、全学的な支援体制を構築するとともに、独立行政法人日本学生支援機構と連携し、「障害学生支援ネットワーク」拠点校として、平成19年度に「障害学生支援担当者講習会」を全国に先駆けて実施したことは、特色ある取組であると判断される。

II 研究に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(特色ある点)

- 中期計画「知的財産等に関する学内規程を整備する」について、知的財産管理体制を整備するとともに、教材等の研究・開発を視野に入れた知的財産の創成・蓄積・活用を推進するため、知的財産ポリシーを策定したほか、教員が研究・開発した教材の販売システムを導入したことは、特色ある取組であると判断される。

III その他の目標

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期目標で「地域社会との連携・協力及び教育面における社会サービスを積極的に行うことにより、本学の社会貢献活動の一層の充実を図る」としていることについて、

社会連携を積極的に展開するため、福岡教育大学人材バンクを設置し体制の整備を行い、大学の社会連携・地域貢献に活用され、また教育委員会、地元自治体や地域の大学との連携・協力が促進され、その件数が年々増加していることは、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「開発途上国等の教育水準向上のためのプロジェクトに積極的に参画する」について、平成 19 年度に NGO「エデュケーショナル・サポート・センター (Edu)」との連携体制を構築し「カンボジア国理数科教員研修事業」を実施し、「英語アフリカ圏中等理数科教員研修生」を受け入れるなど、開発途上国の理数科教育水準の向上へ貢献していることは、特色ある取組であると判断される。